

令和5年度介護保険事業の実績報告 サマリー

1 人口と被保険者数・認定者数の実績

・スライドNo3

65歳以上人口のうち、75歳以上の構成比が年々上昇しており、高齢者に占める後期高齢化率が57%を超えた。第1号被保険者にしめる要介護認定率は20.9%と前年に比して0.08ポイント上昇している。

・スライドNo4、No5

75歳以上被保険者の増加に伴って、認定者全体で80人増加し、7,180人となっている。また、総合事業対象者は継続して減少傾向にあるが、減少幅はさほど大きくない。

2 給付費の実績

・スライドNo9

令和5年度の総給付費の実績と、令和4年度実績、令和5年度計画値とを比較した表となっている。令和5年度の総給付費の合計額は、令和4年度に比して3.2ポイント上昇している。認定者数の増加に伴う増額と考えられる。

・スライドNo11

令和5年度の介護給付費と令和4年度の給付費の実績をレーダーチャート化したものとなっている。令和4年度実績を「1」として示し、それに対して令和5年度実績が前年度を上回る場合は1以上（外側）、実績が下回っている場合は1未満（内側）にプロットしたものとなっている。

新型コロナウイルス感染症流行時に在宅志向が高まり、訪問の医療系サービス、福祉用具等のサービスの伸長が特徴的であったが、5類に移行したこともあってか、施設、居住系も回復し全体として実績は伸長している。

・スライドNo12

介護給付費についてスライドNo11のレーダーチャートのもととなった数字を掲載している。介護給付費全体としては、前年度比3.2ポイントの上昇となっている。

・スライドNo14

介護予防給付費について、スライドNo11と同様にレーダーチャート化したものである。介護給付費と同様に、福祉用具関連のサービスが伸長した結果となっている。訪問リハビリテーションについては、比率では1.5倍程度の伸びを示しているが、そもそもの利用者が少ないため給付費自体は60万円増えたにすぎず、急激に利用が伸びたわけではない点ご留意いただきたい。また、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い通所リハビリテーションの実績が伸長している。詳細はスライドNo15参照

- スライド No15

介護予防給付費についてスライド No14 のレーダーチャートのもととなった数字を掲載している。総額としては、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、サービス利用がもどってきたようで前年比 7.7 ポイント上昇している。

- スライド No17

総給付費と総合事業費、その合算した結果について記載している。全体としては、3.4%の増額となっている。ただし、総合事業に限ってみると、利用が戻りつつあり令和3年度よりも伸長した令和4年度実績と比較してもさらに実績は伸び、前年度比 34.4 ポイント上昇している。